

迎春



横浜市水友会
横浜市保土ヶ谷区
宮田町一―五―七
発行責任者 石井栄一
Tel 442-6954



写真 青木豊夫氏提供(御殿場より)

平和と安心・安全な社会の実現を 一般社団法人 横浜市水友会 会長 石井 栄一



新年 対する割合は27.7%と言われ
おめで っており、少子高齢化や切り下
とうご げられる年金により就業率も
ざいま 上昇傾向にあると言われてい
す。 ます。

本年 活動に対する会員皆様方のご
も各種 協力をお願い申し上げます。
事業並 さて、退職者会である水友会
びに諸 組織の特徴は、社団法人として
す。 事業展開を図りながら会員交
流事業の充実・強化を目指す
特異な組織体であり、全国を
見渡してもあまり類例を見な
い退職者組織であります。

50年近くの間、様々な社会環
境の下で事業規模も変化し、激
変する社会環境のなかで水友
会事業は大変厳しい現況を迎
えています。引き続き水友会
組織の発展に向けて努力して
まいります。

国の発表によりますと昨年
8月現在での65歳以上の高齢
者は、3514万人、総人口に
対する割合は27.7%と言われ
おり、少子高齢化や切り下
げられる年金により就業率も
上昇傾向にあると言われてい
ます。

策を強めています。
一方軍事費は、北朝鮮による
核開発・核武装を非難し、これ
をテコとする米国の軍事一体
化により年々膨張を続け、軍事
力を誇示する外交姿勢が強ま
り、武力行使も辞さない圧力に
よる平和維持の政策を強行に
展開しています。

平成30年 横浜市水友会 新春の集い

日時 平成30年1月6日(土)
午前11時～(2時間程度)
会場 ワークピア横浜 2階
会費 3000円(当日、会場にて徴収)
☆当日まで、お身体を大切になさってください。多くの皆
様をお待ちしております。(水友会事務局)
☆皆様からいただいた近況報告は、郵便事情の都合から次
号の別冊(水友だより第32号)として掲載いたします。た
いへんご迷惑をお掛けして申し訳ございません。

「現・退一致」の運動で安心社会を

横浜水道労働組合 執行委員長 的場 信也



新年おめでとーございます。水友会の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。私たちとしても団結した組織力で新たな運動の歴史を刻めるよう職場組合員の仲間と共に奮闘してまいります。

めぐる状況は、昨年の総選挙で自民党の圧勝を許すこととな

運動を進めてまいります。今年の干支は「戌年(いぬどし)」です。「戌」は忠実で勤勉な動物であり、「戌」の干支の特徴としては協調性と柔軟性を併せ持ち、困難な状況でも決してめげずにやり遂げる力を持つています。私たち労働組合も社会的役割として共生社会の創造に向けて、仲間との支えあいを大切にしつつ、本年も現・退一致でできることを全力で粘り強く奮闘してまいります。

結びに、水友会の皆様、そしてご家族の皆様にとりまして、この新しい年がより良き年でありますよう心から祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

ながら、事業を支えてくださる関係者の方々の協力関係の下でより一層のサービス向上を目指してまいります。

130年の歴史を次世代に引き継ぐ

横浜市水道局 局長 山隈 隆弘



明けましておめでとーございます。

日頃から、水道事業に対し、多大なご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。昨年

は、横浜は、近代水

道が創設され130年を迎えるという記念の年でありました。

130年間にわたり横浜の発展を支えてきた水道は、市民の皆さまをはじめ、水友会の会員の皆さまや関係の方々のご協力により、震災や戦災などの困難を乗り越え今日に至っています。

次世代に確実に引き継ぐため、社会の変化に柔軟に対応し



最後に、皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

ゴルフ班 長浜幸児氏初優勝 タナボタでも嬉しい

11月29日(水)富士ヘルスキャン トリー倶楽部で、第24回水友会ゴルフ大会が3人の初参加を含めた31人のゴルフ好きが集合し開催されました。

当日は、最高気温が20℃にも上がり風もなく、富士山に向かってシヨットする絶好のロケーションでのゴルフを楽しみました。

パーティー表彰式では、ブレいの反省会や表彰など参加者同で盛り上がりました。

今回、スコア上では渡辺隆則氏が優勝でしたが、ハンデが自己

将棋班 全国の精鋭と熱戦を 展開するも惜敗

今年も将棋班では、東京体育館で開催された「職域団体対抗将棋大会(略称:職団戦)」に参加しました。

11月23日(木)祝第112回大会(419チーム参加)、精鋭5人がいざ千駄ヶ谷へ。

今年もBクラスに昇級(昨年Cクラス慰安戦優勝)して(上からS・A・F)64チームが優勝を目指します。1回戦は2-3と敗れたものの、慰安戦1回戦を3-2、と勝ち上がり、昼食休憩。昨年の再来を狙

順位	氏名	グロス	ハンデ	ネット
優勝	長浜 幸児	96	26.5	69.5
準優勝	渡辺 隆則	96	28.0	68.0
第3位	丸 保行	88	17.9	70.1
第4位	涌井 勇二	89	18.9	70.1
第5位	横山 種夫	92	21.4	70.6

申告のため「初参加者は優勝できない」というゴルフ班のルールで、優勝は長浜幸児氏が準優勝が渡辺氏、第3位は丸保行氏という結果になりました。

◆優勝:長浜幸児氏。パターを頑張り全体として調子が良かったおかげで、タナボタ優勝することができ、嬉しいですよ。

いきましたが、慰安戦2回戦を2-3で落とし残念ながら終了。来年への雪辱を胸に会場をあとにしました。(田中峰吉)



三浦半島の二子山をハイキング

横須賀・三浦地区居住者会

秋のハイキングは、早朝の雨も上がり、集合時間には天気が回復する中、水友会石井会長や横須賀・三浦地区居住者会員等総勢9人の参加者を得て実施しました。

11月11日(土)午前10時に「JR逗子駅」に集合し、1時間に1本の運行という貴重なバスに乗って終点の「葉山南郷公園」に到着しました。

ここはハイキングコースの出発点、登山前にしばしの休憩を入れて『いざ出発』。二子山山頂までの道のりは、鎖場がある上り道が続き、参加者は心地良い汗を掻きながら11時過ぎに山頂へ到着しました。



山頂に着くころには、曇つない晴天となり、山頂からは東京湾、房総半島、横浜や東京方面が見渡せる絶好のハイキング日和となりました。

山頂の眺望の効く場所に陣取り昼食休憩。体力が回復したころ合いを見て山頂を12時に出発。「いのしし注意」の看板のある道を進み、40分程で馬頭

観音に到着。小休憩後、上り下りのある山の稜線を進み、14時前にはゴールの横須賀市田浦町に無事到着しました。

田浦からは、バスで懇親会場のある横須賀中央に移動し、何時もの「庄屋」に到着しました。

最初に「生ビール」で乾杯、今日の反省やコース等話題は尽きず、たいへん盛り上がり、和やかな一時を過ごしました。(白杉敏幸)

持ち歌2曲を熱唱、大いに盛り上がる!

カラオケ交流会は、10月28日(土)に昨年と同様、京急線「上大岡駅」近くのスタジオを昼間に貸切行いました。

当日は、雲行きが怪しい中、17人の参加者は全員時間通り集まり、宮下和光幹事の挨拶、細貝鋼二幹事の乾杯でスタートを切りました。

トップバッターは、宮下幹事が「北の旅人」を熱唱し、その後、次々と持ち歌を披露し、途中小休止を挟み全員2曲を熱唱、特別賞を宮下さんと早勢雅友さんが獲得して成功裡に終了しました。

閉会の挨拶を井上武さんにお願ひし、宮下さんの一本締めで締めくくり、来年、元気に会う



ことを約束して解散しました。参加された皆様ありがとうございました。(細貝、宮下)

遊YOU

全国でも珍しい水道幹線と公道併用の大原隧道

横浜市水道局の配水幹線の一つに、蒔田線(φ600mm)があり南区蒔田・磯子区方面に飲料水を送っている。途中、現在の清水ヶ丘公園の下を貫き、南区清水ヶ丘と南太田を結んでい

るトンネルがある。これが「大原隧道」だ。昭和3年に関東大震災の復興事業の一環として水道本管を敷設するためのトンネルとして完成した。全長254mで、水道管理用道路付である。当初、道路は管理用通路として使用されていたものを、周辺の都市化によ

って、昭和47年に今のよう全国でも珍しい水道幹線と公道併用となった。ところで、「大原隧道」の「大原」という名称の由来はどこからきたのか。隣の地名は、清水ヶ丘、三春台、庚台や南太田等、また、たいへん起伏のとんだ地形であり「大原」とはあまり関係はなさそうだ。一説によると、その昔、一帯は山野や耕地が広がっていた「大原耕地」と呼んでいたそう

だ。その名残りで「大原隧道」と名付けたとのこと。

現在は、照明が整備され、平板を敷き詰め、歩きやすい隧道となっている。清水ヶ丘公園等と一緒に散策コースとしても、是非、歩いてみてはいかが。

(彰)



緑と清流の道志水源林を見学

県央地域連絡会

去る11月16日(木)、今年「山梨県・道志水源林&河口湖紅葉まつり」の見学実地を実施しました。当日は好天に恵まれ、26人の参加者は、大和駅前を定刻どおり8時15分に出発しました。出発間もなく、会長から「ここ数年、参加者が20人程度で固定化しており、地域以外に声掛けしたところ、26人に増えたいへん喜んでます」と挨拶がありました。また、車内では例年どおり懇親を深める酒盛りが始まったのですが、何時もと違って盛り上がり欠けるので心配したところ、これから水源林事務所の職員に「道志森未来植樹祭」の森の案内をしてもらう都合、余り酒臭いと悪いので適度に飲むことに。その間、御園生さんが制作した平成13年にあつた「植樹祭」のDVDを觀賞して、ある程度の知識を習得しました。

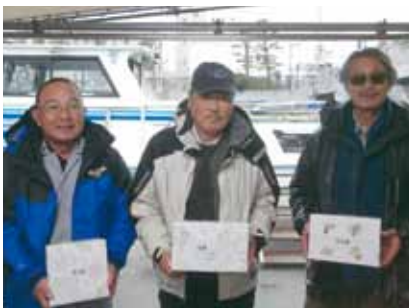
途中、愛川町にある「オギノ製パン」で休憩し、青山から道志へ。道路は全面舗装してあるのですが道幅も狭く、蛇行した道路が30分以上も続いて、中には車酔いの参加者も出ました。が、40分近く遅れて「道志の湯」に到着しました。事務所の職員と簡単な打合せを済ませて、10分余り落葉樹の山道を登り、植樹の森に到着。途中、御殿場海老名両SAで休憩を取りながら、17時45分大和駅に無事到着し、次回元気に会うことを約して散会しました。(北村 勇)

釣班 強風を突いて「カワハギ」大会

釣班によるカワハギ大会は、11月18日(土)横須賀市久里浜夫婦橋際の船宿「山下丸」で開催しました。

前日の天気予報では、冬型の気圧配置が強まり、気温10度、降水確率80%と最悪のコンディションと報じられ、参加者からの問い合わせに右往左往のありさまでした。ところが、翌朝の空模様は北風こそ強いが雨は降っておらず、予定どおり決行しました。

午前6時30分、11名の仲間が船宿に集合し、抽選で席順



(右)準優勝 渡辺吉隆 (中)優勝 内田一好 (左)第三位 木下辰雄の各氏

を決め、強風の中、竹岡沖に出船です。風が強いため、朝の内は海が荒れ、下げ潮も速く、船

着、16年前に横浜市民が植樹した木の太さは約10cmほどに育っていました。今年も天候不順のためか落葉樹はほとんど落ち、期待していた紅葉も一足遅かった感がありました。「道の駅どうし」で休憩して、河口湖畔にある「河口湖荘」で1時間遅れの昼食。山梨名物の「ほうとう鍋」に舌鼓しながらくつろいだ後、湖畔をバスで周遊、車窓から紅葉をめでながら帰路に着きました。

底を釣ると餌取りも多く、根気のいる釣りとなりました。暫くすると、下げ潮が二枚潮でどんどん速くなったものの、水深15mラインで「カワハギ」は口を使い、大・中・小型が交ざり、ようやくポツポツ釣れ始めました。我慢強く竿を出す人、早々無理だと船室で休む人等がい

て、少々早上がりではあったが3匹の重さ勝負となりました。計量の結果、優勝は内田一好さん(825g)、準優勝は渡辺吉隆さん(809g)、第3位には木下辰雄さんが入り賞品をゲットしました。会員の皆さん、来年は是非一緒に釣りを楽しんでみませんか。結構、楽しいですよ。(彰)

麻雀班 第4回大会 3年ぶり3度目の優勝 井上武氏

水友会麻雀班第4回大会は、11月25日に関内「緑の館」で24人の仲間が集まり、親睦・交流の楽しい1日を過ごしました。最終結果は、1組目の闘いで井上武氏が3万9千点のトップをとり3年ぶり3度目の優勝となりました。準優勝は残念な

ながら桐ヶ谷氏、3位には天笠氏が入賞し、4位は井上二雄氏、5位は内田健氏の順位でした。年間成績の1位は、4大会とも安定した成績の天笠氏です。2位以下を離して現在独走中。2位は丸氏、3位は會澤氏、4位は岸氏、5位は新藤氏となつていきます。

第4回大会成績

順位	氏名	得点
優勝	井上 武	88,700
準優勝	桐ヶ谷 昇	83,400
第3位	天笠 徹二	64,400
第4位	井上 一雄	51,000
第5位	内田 健一	41,400

年間成績

順位	氏名	得点
第1位	天笠 徹二	225,800
第2位	丸 保行	148,700
第3位	會澤 賢治	138,100
第4位	岸 敏明	107,700
第5位	新藤 政敏	85,000

☆優勝・井上武氏 昨年の1月大会から絶不調となつていたが、前回大会で3位に入賞できたことが今回の成績につながったと思います。これから頑張ります。

敬弔

ご逝去を心からお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。
古岩井利廣様(74歳) 平成29年9月14日 逝去
山口 英子様(64歳) 平成29年11月4日 逝去
阿部 勇亮様(87歳) 平成29年12月1日 逝去